

令和6年度 第1学年 授業改善推進プラン

台東区立根岸小学校

児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
<p>【国語科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと」では、順序や話し方に気を付け、分かりやすく伝えることが難しい。</li> <li>・「読むこと」「書くこと」では文章表記上のルールや決まり事の定着ができていない。 (長音、拗音などの表記、助詞の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方)</li> <li>・文字を丁寧に書くことが難しい。(筆順や点画、文字の形に注意して書く。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高める。</li> <li>・文章表記上のルールを理解し、長音、拗音などの表記、助詞の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)などを正しく使い、文で自分のことを表現できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平仮名、片仮名の指導を実態に合わせて丁寧に指導を行う。</li> <li>・ノート、宿題など「書くこと」に関する評価をすることで文字を正しく、丁寧に書くことの価値を児童に伝える。</li> <li>・児童が書いた文字や文章を肯定し、学習意欲を高め、自主的に学びを深めることができるようにする。</li> <li>・グループ学習などで思いや考えを伝え合う場面を設定し、伝え合う機会を多く設定する。</li> <li>・自分の思いや考えを文章にする学習活動を設定し、まとまりのある長い文章を書く機会を多くする。</li> </ul>
<p>【算数科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を正しく読み取ることが難しい。</li> <li>・学んだことを生かし、問題を解決することが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、統合的・発展的に考えることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童自ら立式の根拠となる数量や条件を、整理し、説明するような学習展開をつくる。</li> <li>・自力解決、友達に説明し共有するという指導の流れを定着させる。</li> <li>・式の意味などを考え共有できるようにする。協働的な学びを深めることで友達の意見と比べ、筋道を立てて統合的に考えることができるようにする。</li> <li>・授業の最後には適応問題に取り組む時間を設定する。</li> </ul>

令和6年度 第2学年 授業改善推進プラン

台東区立根岸小学校

児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「やりたい」という思いはもつことができているが、言葉や文章を使っての表現活動に課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや願いを生かし、学習活動を自ら進んで行う力や自分の思いや考えなどを適切な方法で表現できる力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現したいという意欲が生まれるように、具体的な活動や体験の充実を促すとともに、言葉による振り返りや伝え合いの場を設定する。</li> <li>・導入では児童の思いや願いを聞き取り、合意形成を図りながら学習活動を決定する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように関心をもって聞き、感想をもつ力に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができる力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会等の日常的な場面で、一人一人の児童の言語活動を充実させ、自分なりのものの見方や考え方を表現する機会を設定する。</li> </ul>
<p>【国語科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや考えが明確になるようにして、文章を書くこと。</li> <li>・文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりのものの見方や考え方を文章で表現する機会を設定し、その内容を友達と共有する活動を通して、正しく文章で表現することにより主体的に取り組むことができるようにする。</li> <li>・言語による様々な表現に関心をもてるような学習を意図的に取り入れる。</li> </ul>
<p>【算数科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面を理解して、正しく立式すること。</li> <li>・式や図を用いて、自分の考えを説明すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、統合的・発展的に考える力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間、児童自ら立式の根拠となる数量や条件を、整理し、説明するような学習展開をつくる。</li> </ul>

令和6年度 第3学年 授業改善推進プラン

台東区立根岸小学校

児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
<p>【国語科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新出漢字を正しく読んだり、書いたりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活に必要な国語の知識や技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字ドリルの見直しや、漢字ミニテストを繰り返し行うことにより、新出漢字の習熟を図る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の内容を正確に捉えて聞き取り、考えや感想をもつこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の記述や描写から、豊かに感じたり想像したりする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館司書や地域の図書館と連携し、読書に親しむ態度を育む。</li> <li>・自分の経験、興味や関心を基に、聞きたいことを考えながら具体的に話を聞けるような機会を設定する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、伝えたいことを明確にして、順序や構成に気を付けながら作文すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筋道を立てて自分の思いや考えをまとめ、書いたり話したりする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要なことをメモしたり、質問したりしながら話を聞く活動を習慣的に取り入れる。</li> <li>・週に1回、作文する時間を設定し、書くことへの抵抗感や苦手意識について改善を図る。</li> <li>・文と文の接続や、内容のまとまりに気を付けて書くことができるように、書き方の手本を示したり、内容の構成を具体的に考えさせたりする。</li> </ul>
<p>【算数科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章問題から立式に必要な情報を読み取り、正しく立式し、解決すること。</li> <li>・「時間と時刻の求め方」について理解すること。</li> <li>・わり切れない場合の除法や余りについて理解し、正確に計算できること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数や図、量や測定、表などを理解し、計算したり作図したりする技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算ドリル、プリント等を活用し、計算練習の機会を繰り返し設定し、基礎計算力の定着を図る。</li> <li>・少人数指導を充実させ、個別最適な学習が展開できるよう十分に配慮する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・式や図を用いて、自分の考えを説明すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを明確に説明する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図や表、文章等を用いて立式の理由や解法を説明している児童を取り上げる。</li> <li>・自力解決の時間や友達と考えを共有する時間を設け、自分の考えを伝え合えるようにする。</li> </ul>

令和6年度 第4学年 授業改善推進プラン

台東区立根岸小学校

児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
<p>【国語科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に配当されている漢字を正しく読んだり、書いたりすることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙力（漢字を使った語彙を増やし、正確に使う力）</li> <li>・資質や能力（漢字の形や意味を長期的に記憶する力）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に反復練習を行わせる。また、定期的にテストを行い、習熟を図る。</li> <li>・漢字が苦手な児童には、補習など追加の個別課題を設ける。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報と情報の関係について理解し、自分の考えを明確に書くことに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的思考力（情報を整理し、関係性を理解する力）</li> <li>・表現力（自分の考えを分かりやすく、明確に書く力）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えと事例との関係を明確にして書き表し方を工夫できるように、書き方の手本を示したり、文章の構成を考えさせたりする。</li> <li>・様々なテーマに対して、自分の考えを文章で表現する時間を設ける。また、ペアやグループでの活動を通して、互いにフィードバックし合えるようにする。</li> </ul>
<p>【算数科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図形を正しく作図することに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図形概念の理解力（図形の性質、特徴を理解する力）</li> <li>・作図の技能力（コンパスや定規を正確に使う技能）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の作図手順を分かりやすく、段階ごとに説明する。また、各段階で必要な道具の使い方を具体的に示す。デジタルツールも活用し、視覚的に理解できるようにする。</li> <li>・ペアやグループで作図を行い、互いに教え合えるようにする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまりのあるわり算を正しく計算することに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決力（わり算の問題を解決し、正確に答えを導く力）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な事例や具体物を使って、わり算の概念やあまりを視覚的に示すようにする。</li> <li>・自力解決や友達と考えを共有する時間、修正する時間を十分に設ける。</li> </ul>

令和6年度 第5学年 授業改善推進プラン

台東区立根岸小学校

児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
<p>【国語科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に配当されている漢字や新出漢字を、正しく読んだり書いたりすることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資質や能力漢字の形や意味を長期的に記憶する力)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出漢字同様に、4年生までに学習した漢字についても、定期的に小テストを行い、繰り返し練習することで習熟を図る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな語彙を用いながら話や文章の中で自由に使いこなし、自分の考えを伝えることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙力（語彙の量を増やし、適切に選ぶ力)</li> <li>・表現力（自分の思いや考えが相手に伝わるように工夫する力)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明文や物語を扱う単元では、様々な語句や表現を取り上げて紹介・掲示する。また、興味をもった言葉をすぐに調べられるように児童の身近に辞書を置いておくようにする。</li> <li>・ペアやグループで対話する場を意図的に設定し、自分の思いや考えを伝える経験を重ねる。</li> </ul>
<p>【算数科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・割合などかけ算やわり算を扱う単元では、数学的表現を用いて立式の根拠を示す力が不十分であり、わり算であれば、わる数とわられる数などの式の順序を間違えてしまうなどの課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的表現力、説明するためのコミュニケーション能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章題などを扱う際には必ず式の根拠を明確にするように促す。説明には図や表、言葉などの数学的表現を用いるように声を掛ける。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に、かけ算とわり算の筆算の技能が不十分であり、立式ができていても解答を間違えてしまう場面が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本的な計算技能、根拠をもった筆算手順の理解</li> <li>・学習を振り返り、次の学びにつなげていく力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項の復習、計算演習の習慣化をすることで、技能の定着を図る。また、必要に応じて復習を取り入れる学習展開を行う。</li> </ul>

<p>【社会科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象について資料を基に調べる際に、提示した 1 つの資料をじっくりと見取ったり、読み取ったりすることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く資料を観察・読み取る力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提示する資料を教師が吟味し、数を絞って提示をしてじっくり調べられるようにする。また、資料を見る視点を事前に児童から引き出しておき、板書に残しておくことで、全員が課題を発見できるようにする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習学習や小单元の中で調べて得た知識を関連付けて、自分の言葉でまとめる力が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識を関連付け、根拠をもって表現する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発言を意図的に関連付けながら板書して、それを見ながらまとめに表現できるようにする。</li> </ul>
<p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験に取り組む際にこの実験を行うことで何が分かるのかを理解している児童が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の目的や条件の意図などの根拠を考える力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での実験や観察方法を児童に考えさせる。また、取り組む際に、改めて意図を確認する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の結果からどのようなことが分かるかを見極める力が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事実や結果から見とれることを判断する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優れた児童の考察を手本として示し、適切な考察はどのようなものかを理解できるようにする。</li> </ul>

令和6年度 第6学年 授業改善推進プラン

台東区立根岸小学校

児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
<p>【各教科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組む課題を考える際に、積極的に課題は何なのか考えようとする姿があまり多く見られない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を設定し、主体的に解決する力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元導入時の教材提示を工夫し、児童が主体的に学習問題、学習計画を立てられるようにする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を解決する際に、身に付けている知識を確実に使って、最後まで丁寧に課題を解決することができない姿がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対して知識や技能を活用し、正確に解決する力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の中で、知識や技能を活用して課題に取り組む時間を意図的に設定し、正確に課題を解決できるようにする。</li> <li>・学力向上推進ティーチャーと協力し、知識の定着度や技能の身に付き具合を把握し、個別の指導を効果的にできるようにする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対して自分が思考したことを表現することを苦手とし、前向きに取り組むことができない姿がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや考えを表現する力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元導入時に表現する機会があることを示し、見通しをもって学習を進められるようにする。</li> <li>・表現の仕方の手本を示したり、友達の良い表現方法を共有したりする機会を多くすることで、表現することのイメージをもてるようにする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に取り組む力は十分にありながらも、友達の意見を優先したり、自分の力に自信がもてなかったりする姿がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自信をもって学びに向かう力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組んだことに対して、先生や友達から好意的な評価が得られるような学習活動や学習カード等を工夫し、児童の自信につなげられるようにする。</li> <li>・単元の中で、友達や先生、保護者や地域の方々等に学びの姿を発表したり、伝えたりする機会を多く設定し、成功体験を多く積めるようにする。</li> </ul>